

アンリツ価値創造モデル

アンリツの企業価値の源泉は、アンリツらしさの「信頼性、適応力、先進性」の根源でもある、有形、無形の各資本です。アンリツは、持てる資本を最大限に活用して、社会課題の解決に貢献する企業活動を実践してまいります。

計測事業

5G/IoTの進化で社会イノベーションを牽引する

モバイルブロードバンドサービスの進化で快適なコミュニケーションを実現する

地球規模で強靱なネットワークインフラを実現して安全・安心、快適なグローバル社会を実現する

知的資本

120年の知の集積、イノベーション力

- ・無線・有線通信技術の蓄積
- ・ネットワーク品質保証技術
- ・超高速・光デバイスの開発・製造
- ・秤応用・異物検出技術
- ・研究開発投資：開発ROI 4.0以上

人的資本

グローバルな組織と人材

- ・組織力を高める学習する組織
- ・最先端技術をリードする人材
- ・顧客密着のサポート要員と体制
- ・連結従業員数：3,881人
(うち海外人員：1,609人)

計測事業

5G/IoT社会のリーディングカンパニーになる

- モバイル市場
- ・5G/IoTシステム開発
 - ・モバイル機器製造

- ネットワークインフラ市場
- ・通信ネットワークの構築
 - ・データセンターの高速大容量化

- エレクトロニクス市場
- ・電子デバイスの開発製造
 - ・公共無線網の構築

計測事業

5G/IoTネットワークを

スマートデバイス



高速・低遅延実現

アンリツへの期待 (社会からの要請)

インプット

事業活動

PQA事業

食材や医薬品に対する安全・安心の要求に応える品質保証を実現する

食物資源の適切な利用で生態系への影響を減少させる

社会・関係資本

リーディングカンパニーとのパートナーシップ

- ・お客さまとの強固な信頼関係
- ・グローバルな取引先・顧客リスト

財務資本

市場環境の変化に備えた財務安定性

- ・資本コストを意識した経営の実践
- ・強固なキャッシュ・フロー創出力
- ・高い信用力による資金調達
- ・フリー・キャッシュ・フロー：116.3億円
(2018年度：GLP2020初年度)

製造資本

オリジナル&ハイレベルなものづくり

- ・グローバルなSCM
- ・グローバルな開発体制
- ・グローバルな製造拠点ネットワーク
- ・BCP(事業継続計画)に基づくファシリティとSCM
- ・SCM拠点：13拠点
(うち海外：7拠点)

自然資本

バリューチェーン全体で展開する環境経営

- ・環境マネジメントシステムの徹底
- ・環境配慮型製品の開発プロセス
- ・排水処理システム
- ・化学物質管理システム
- ・自家発電比率：0.8%(2018年度実績)

PQA事業

ワールドクラスの品質保証ソリューションパートナーになる

- 食品・医薬品市場
- ・食品加工・生産システム開発
 - ・食材(重量・異物)選別システム開発
 - ・医薬品製造システム開発

PQA事業

食品、医薬品の品質保証ソリューション



品質検査

ESG

環境配慮型製品の開発と普及で低炭素社会の実現に貢献する

個の成長を実感できる働きがいのある職場環境を提供する

透明・公正で誠実な企業活動を行う

ESG

地球環境保護の推進

グローバル経済社会との調和

ガバナンスの強化と充実

ESG

- ・再生可能エネルギー
- ・CO₂排出量(工)
- ・高品質で環境・環境負荷を低

- ・人権と多様性の
- ・人権に配慮した

- ・コーポレート
- ・リスクマネジ

エンゲージメント

企業市民としてサステナビリティ社会の実現に貢献する

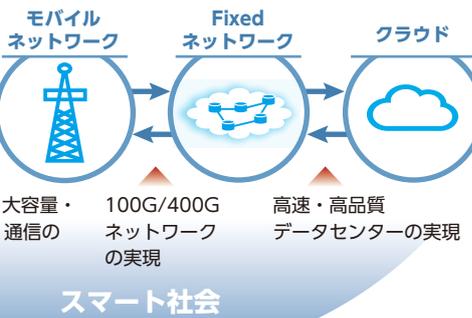
エンゲージメント

コミュニケーションの推進による共有価値の創造

ステークホル

P26~29

支え、社会イノベーションを牽引する計測ソリューション



知的資本

- ・国内外の技術標準/規格団体への参加と貢献：11団体

人的資本

- ・女性役員比率：8.7%
- ・外国人役員比率：4.3%
- ・女性の幹部職登用率：日本1.8%
全社10.4%

計測事業

P29



9 産業と技術革新の基盤をつくらう

安全・安心なインフラを整備し、持続可能な社会の建設につながる産業の創造とイノベーションの促進に貢献する



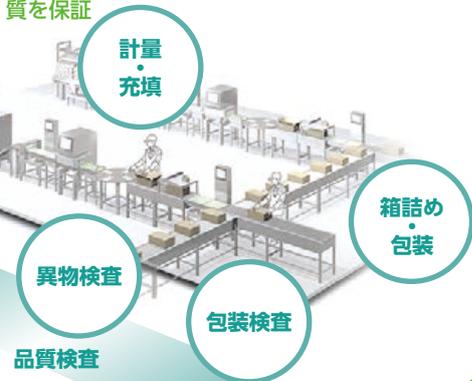
11 組み立てられるまちづくりを

安全・安心であらゆるものがつながる強靱なネットワークインフラを整備し、持続可能な社会の建設に貢献する

アウトプット

P30~33

質を保証



社会・関係資本

- ・機関投資家・アナリストとのミーティング
国内投資家：249回
海外投資家：244回

財務資本

- ・フリー・キャッシュ・フロー：110.35億円

製造資本

- ・生産実績
計測：781.7億円 (前年比112.2%)
PQA：229.5億円 (前年比101.5%)
その他：92億円 (前年比106.8%)

自然資本

- ・[Anritsu Climate Change Action PGRE 30]を策定
再生可能エネルギー自家発電比率を2030年ごろまでに30%程度まで高める

提供する社会価値

(安全・安心で快適な社会構築への貢献)

PQA事業

P33



9 産業と技術革新の基盤をつくらう

安全・安心なインフラを整備し、持続可能な社会の建設につながる産業の創造とイノベーションの促進に貢献する



12 つくろ責任 つかう責任

食品や医薬品の品質保証の高度化を通じて、誰もが安全で安心して暮らせる社会、食品ロスの少ない持続可能な社会の実現に貢献する

P34~43

ギ一自家発電比率向上
エネルギー消費量/水使用量の削減
に配慮した製品の開発/製造
減するSCM

尊重 ・ 人財育成 ・ 労働安全衛生
SCM(サプライチェーンマネジメント)

ガバナンス ・ コンプライアンスの定着
メントの推進

エンゲージメント

ダーへの情報提供とコミュニケーション

ESG



12 持続可能な消費と生産

持続可能な消費と生産の企業活動で持続可能な社会づくりに貢献する



8 多様な人財

多様な人財とともに、個々人が成長し働きがいのある職場づくりに貢献する



16 透明な意思決定とリスク管理

透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定とリスク管理で誠実な企業活動を行う

エンゲージメント



17 ステークホルダーとの協働

すべてのステークホルダーとともに協働して共有価値の創造に貢献する